



東京金山会のページに
アクセス！

東京金山会通信

No.23

問い合わせ

東京金山会 広報担当（藤山善夫）
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

今年の東京の冬は、雪が降ったと思ったら、急に寒気が弱まったりと不安定。ただ毎年、初雪を見ると、東北を思い出します。今回は連載の「都会で頑張る金山出身者」はお休み。東京金山会役員会のご報告と東京金山コラムのVol.2をお届けします。

2021年1月30日（土）、東京金山会の役員会を開催しました。柿崎会長代行のもと、次回の総会に向けた、今後の運営と1月末時点の東京でのコロナの状況、開催に際してのリスクなど、意見交換を実施。3月27日の役員会で、より議論を深めること、また事務的なスケジュールの確認などを行いました。役員会の状況は、引き続き、こちらの場でもご報告させていただきます。

「東京金山コラム」Vol.2「原宿」

金山中学校の修学旅行的一幕「職場訪問」来訪してくれた中学生の「みんな」へ。

「次に行くのはどこ？」って聞くと「原宿!!」
原宿までは送ってあげようと、一緒に千代田線へ。途中「乃木坂」駅を通過で、ちょっとした「おー」という声ともに「神宮前」へ到着。竹下通りの入口で、みんなと記念写真撮って、あとは自由行動。
「行ってらっしゃい!! 気を付けて!!!」
学生服姿で街へ向かう人は、東京・地方限らず、みんな以外にもたくさんいたけど、みんなの行動が礼儀正しく、教育度の高さ「さすが金山中」って誇らしく思った。
ふと、竹下通りの反対側、明治神宮へ。
金山中の「みんな」が来訪してくれると、いつも幸せな未来が待っていてほしいと強く願う。
神宮の森を歩きながら「みんな」に「素晴らしい志を持った大人になってほしい」という願い。
東京にいる私たちも「職場訪問」を通じて「みんな」に力をもらっている。
何より綺麗な木洩れ陽が「神宮の森」へ差し込み、金山中「みんな」の前途を祝福しているようでした。



No.181

「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『おひいさん』
（きむらよしお／著
佼成出版社）

ガンスケとゴンスケがおなら走りをしていると、おひいさんがプッとおならをしました。おひいさんは空を赤く染めて、山の向こうへ隠れました。2人は追いかけて、ゴンスケはおなら宙返りを、ガンスケはおなら水歩きをして見せました。おひいさんは驚き、喜びました。おひいさんが池にお尻を向け、とびきりのおならをすると、池の水がみるみる赤色になりました。
ただのおなら絵本と侮るなかれ、最後にはびっくり仰天な「おならの秘密」が明かされます。臭いもの、笑えるものだばかり思っていたおならに、あんな美しい秘密があったなんて…



※（ ）内作者名

捨て猫のプリンアラモード（麻宮ゆり子）／13歳のきみと戦国時代の「戦」の話をしよう。（房野史典）／人生100年家づくり（建築知識）／なにごともなく、晴天（吉田篤弘）／ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人（東野圭吾）／

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

『世界に教えた日本のうまさ WASHOKU』
（川村淳平／淡交社）
東アジアの食文化圏のなかで独特の発展をとげた日本料理と、日本化した欧米や中国の食が混じり合う世界でも希な豊かな食文化が和食。日本人には今更聞けないことの答えとして、外国人にはクールで不思議な和食の知識と美味しさを英語を添えてイラスト図解。



『につぼん建築散歩／続につぼん建築散歩』
（小林泰彦／山と溪谷社）
日本全国30エリアの名建築をめぐる散策を、イラストと地図と共に紹介。明治、大正、昭和の街の顔が見えてくる、新しい建築散歩へ誘います。建築鑑賞だけでなく、街の歴史や雰囲気を楽しめます。山形県内からは、山形銀行本店周辺と鶴岡公園周辺の建築散策が紹介されています。



／今月は10冊！／

肉体のジェンダーを笑うな（山崎ナオコ）／仏像イラストレーターが作った仏像ハンドブック（田中ひろみ）／海でギリギリあきらめない生きざま。（鈴木香里武）／夜明けのすべて（瀬尾まいこ）／星になりたかった君と（遊歩新夢）

／絵柄の一部を紹介します／



ライトアップされた大堰



金山杉の美林（南沢地内）



夕暮れのグリーンバレー神室



金山の美林（南沢地内）

町の名所を描いた 名刺台紙を販売しています！

ライトアップされた大堰、金山杉の美林、白壁の街並みなど、名所のイラストや写真を用いた名刺台紙を販売しています。金山町をアピールする名刺はいかがですか？

- 全11種類
 - 500円/1箱（100枚）
- ※名刺への印刷代は別途かかります

【ご購入・お問い合わせ】
役場総務課 広報情報係 ☎ 52-2111